

第2章 在宅医療の需要動向

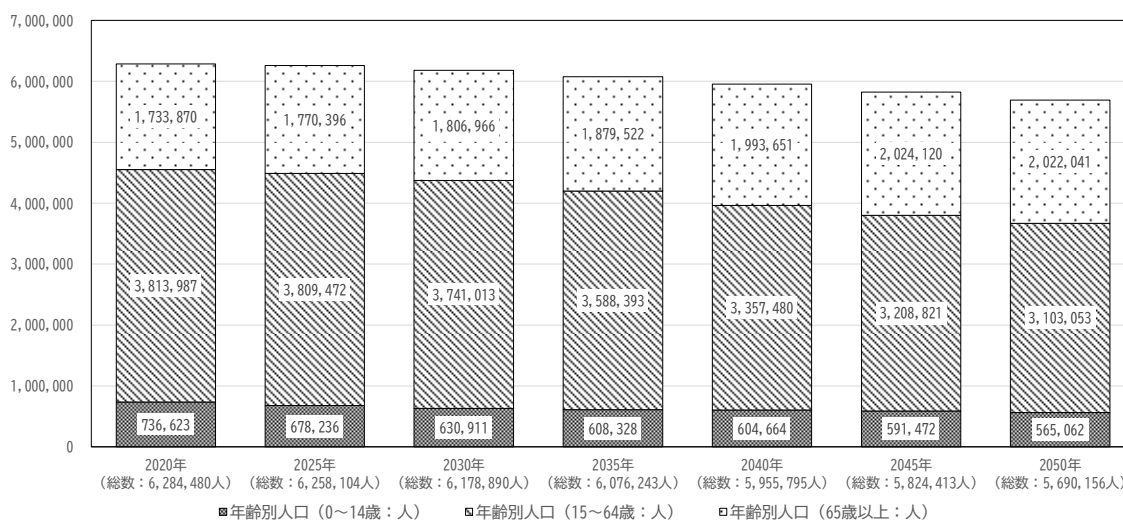
1. 在宅医療の対象者の状況と将来見込み

■ 疾病構造の変化と高齢化の進展、医療機能分化の推進により、在宅医療の需要は増加している。

○千葉県では、令和2年（2020年）～令和32年（2050年）にかけて、0歳～14歳の年少人口及び15歳～64歳の生産年齢人口は減少傾向にある一方、65歳以上人口は増加傾向（2050年は対2020年比で116.6倍）にあることから、今後高齢化が急速に進展することが見込まれる。

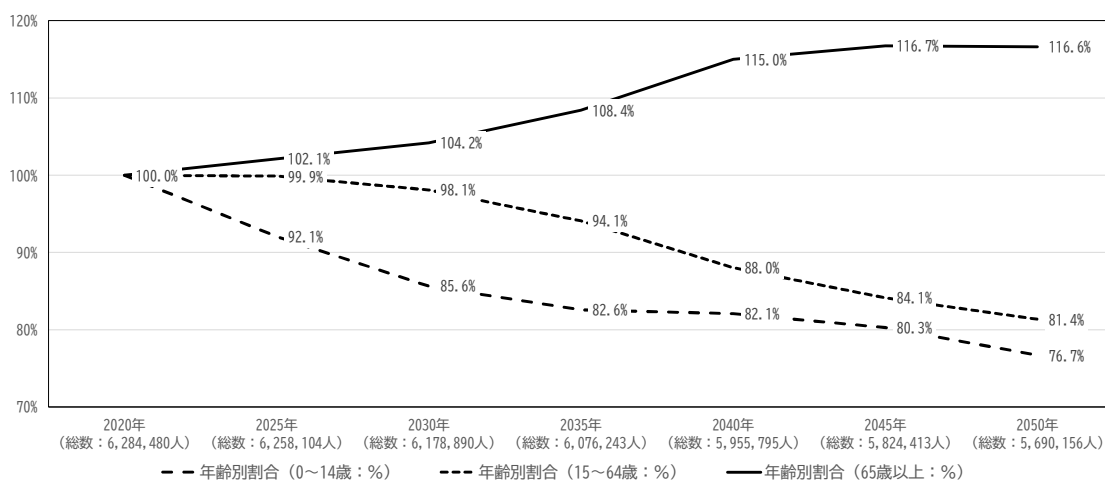
○さらに、地域医療構想における医療機能分化を通じて、現状の療養病床の患者の一部を、将来的には在宅医療や介護老人保健施設、特別養護老人ホーム等が担っていくこととされている。

図表5 千葉県の将来推計人口（令和2年（2020年）～令和32年（2050年））



出典：日本の地域別将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所 令和5（2023）年推計）

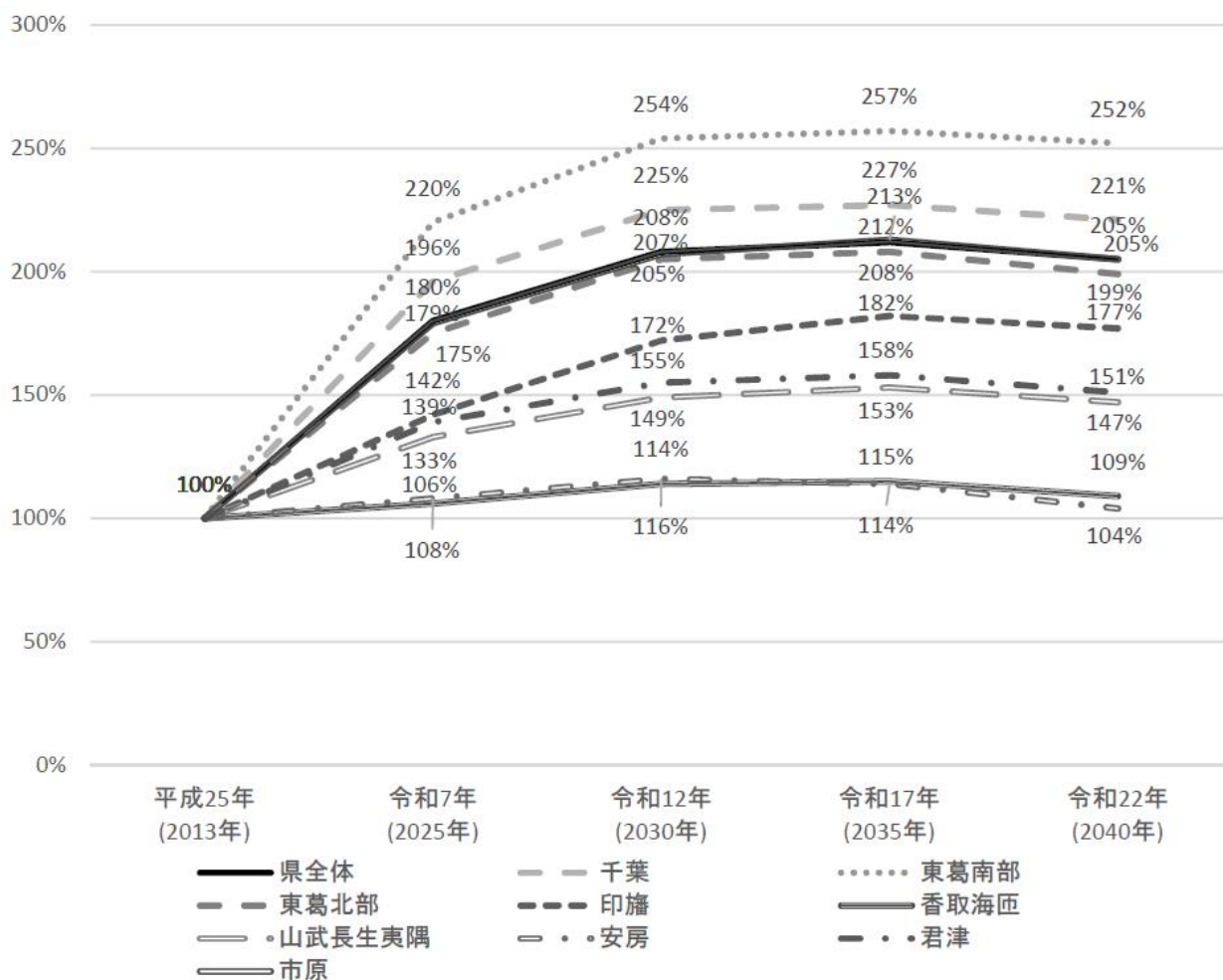
図表6 千葉県の年齢階級別人口（対令和2年（2020年）比）の推移



出典：日本の地域別将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所 令和5（2023）年推計）

- これらを踏まえ、1日当たりの訪問診療推計患者数は増加の一途をたどり、令和17年(2035年)にピークを迎えることが見込まれている。千葉県全体のその患者数は、平成25年(2013年)度の患者数を基準に、令和7年(2025年)には1.80倍、令和12年(2030年)には2.08倍、令和17年(2035年)には2.12倍、令和22年(2040年)には2.05倍になると見込まれている。
- 二次保健医療圏別にみると、「安房」では令和12年に、その他の医療圏においては令和17年に患者数のピークを迎えることが見込まれている。特に、「東葛南部(2.57倍)」、「千葉(2.27倍)」、「市原(2.13倍)」、「東葛北部(2.08倍)」は、令和12年までに平成25年の2倍以上に患者数が増加することが見込まれている。

図表 7 千葉県の患者所在地別訪問診療患者数の将来推計の対平成25年増加率



出典：千葉県保健医療計画（平成30年度～平成35年度）

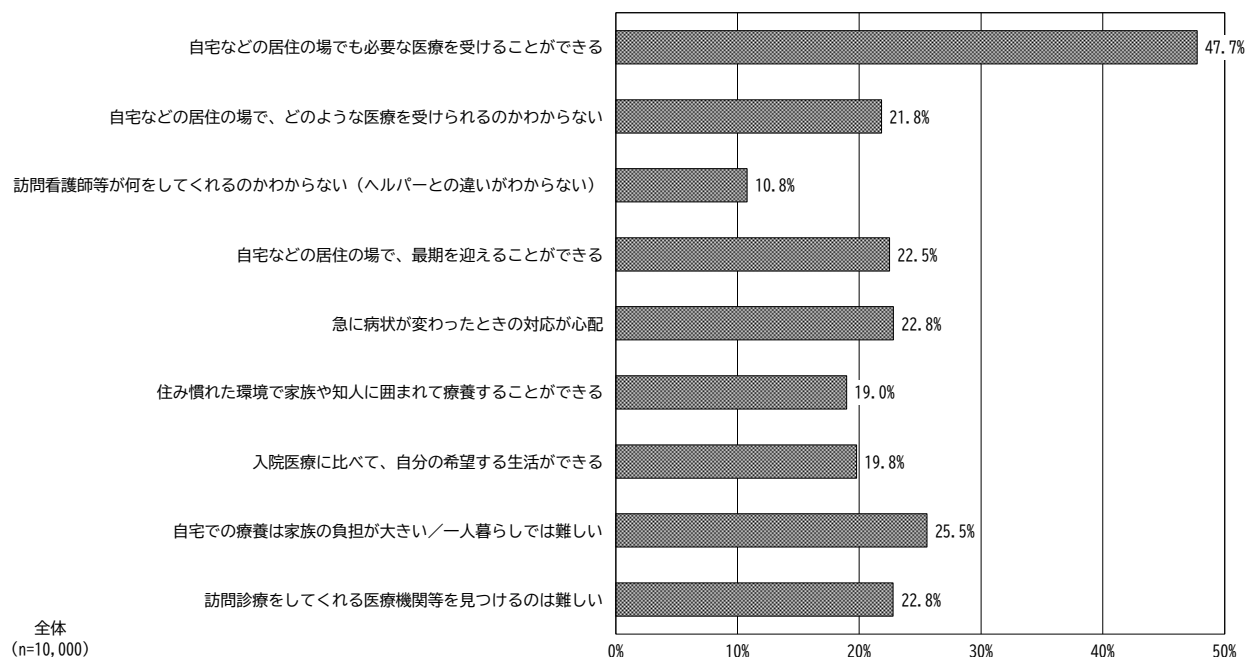
2. 在宅医療に関する県民の意識【令和5年度意識調査の結果】

(1) 在宅医療のイメージについて

○自身が持つ「在宅医療」へのイメージは、「自宅などの居住の場でも必要な医療を受けることができる」(47.7%)、「自宅での療養は家族の負担が大きい／一人暮らしでは難しい」(25.5%)の順で多かった。

○最も回答割合の高かった「自宅などの居住の場でも必要な医療を受けることができる」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに4～5割台であった。

図表 8 自身が持つ「在宅医療」へのイメージ



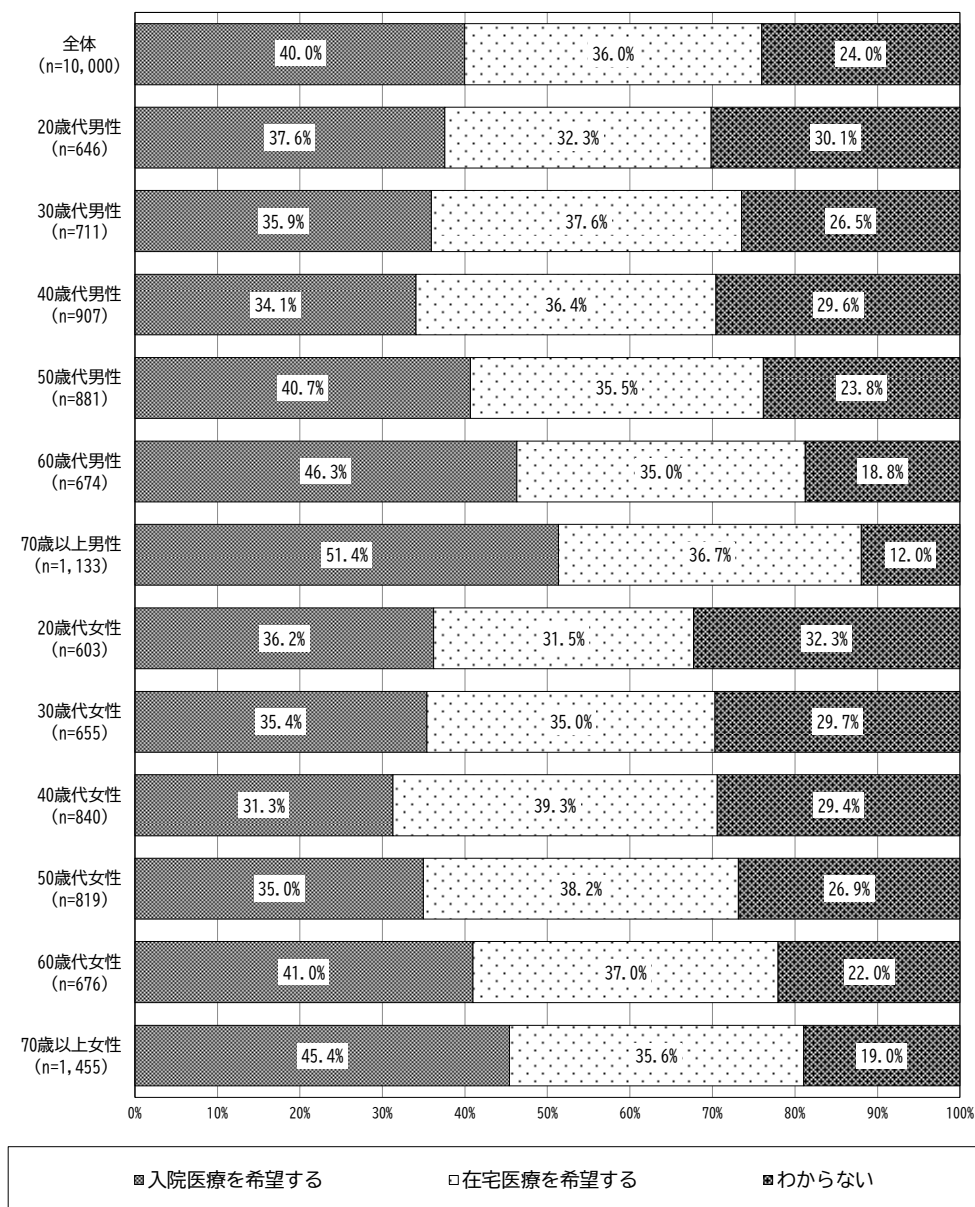
	全体 (n=10,000)	20歳代男性 (n=646)	30歳代男性 (n=911)	40歳代男性 (n=907)	50歳代男性 (n=881)	60歳代男性 (n=674)	70歳以上男性 (n=1,133)	20歳代女性 (n=603)	30歳代女性 (n=655)	40歳代女性 (n=840)	50歳代女性 (n=819)	60歳代女性 (n=676)	70歳以上女性 (n=1,455)
自宅などの居住の場でも必要な医療を受けることができる	47.7%	47.6%	42.2%	40.8%	44.5%	50.5%	54.3%	44.9%	49.9%	43.7%	46.1%	53.0%	51.4%
自宅などの居住の場で、どのような医療を受けられるのかわからない	21.8%	21.3%	21.6%	24.8%	24.6%	23.5%	25.8%	18.6%	19.7%	23.1%	19.2%	17.9%	19.6%
訪問看護師等が何をしてくれるのかわからない (ヘルパーとの違いがわからない)	10.8%	13.9%	13.3%	11.7%	12.9%	11.9%	13.4%	10.0%	9.3%	9.1%	8.4%	7.3%	8.7%
自宅などの居住の場で、最期を迎えることができる	22.5%	15.8%	19.7%	16.5%	15.7%	20.1%	27.8%	18.9%	20.9%	23.1%	24.3%	25.0%	31.3%
急に病状が変わったときの対応が心配	22.8%	17.7%	21.2%	20.5%	18.1%	19.4%	23.4%	22.2%	23.9%	23.4%	22.9%	26.7%	28.8%
住み慣れた環境で家族や知人に囲まれて療養することができる	19.0%	15.6%	14.5%	13.8%	12.6%	17.0%	23.0%	19.3%	20.1%	20.0%	21.1%	22.7%	23.3%
入院医療に比べて、自分の希望する生活ができる	19.8%	12.9%	14.7%	14.4%	16.6%	19.2%	23.3%	15.2%	18.3%	19.6%	21.1%	23.5%	28.3%
自宅での療養は家族の負担が大きい／一人暮らしでは難しい	25.5%	10.5%	16.5%	18.0%	22.1%	24.8%	26.9%	20.5%	25.2%	28.0%	31.7%	32.1%	36.9%
訪問診療をしてくれる医療機関等を見つけるのは難しい	22.8%	21.8%	21.7%	21.4%	23.2%	23.9%	23.6%	22.9%	22.6%	22.5%	24.3%	22.2%	22.8%

(2) 長期の療養場所の希望や理由について

〔長期の治療・療養が必要になった場合の「在宅医療」の選択希望〕

○長期の治療・療養が必要になった場合に「在宅医療を希望する」と回答した方の割合は、36.0%であった。回答割合の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに3割台であった。

図表 9 長期の治療・療養が必要になった場合の「在宅医療」の選択希望

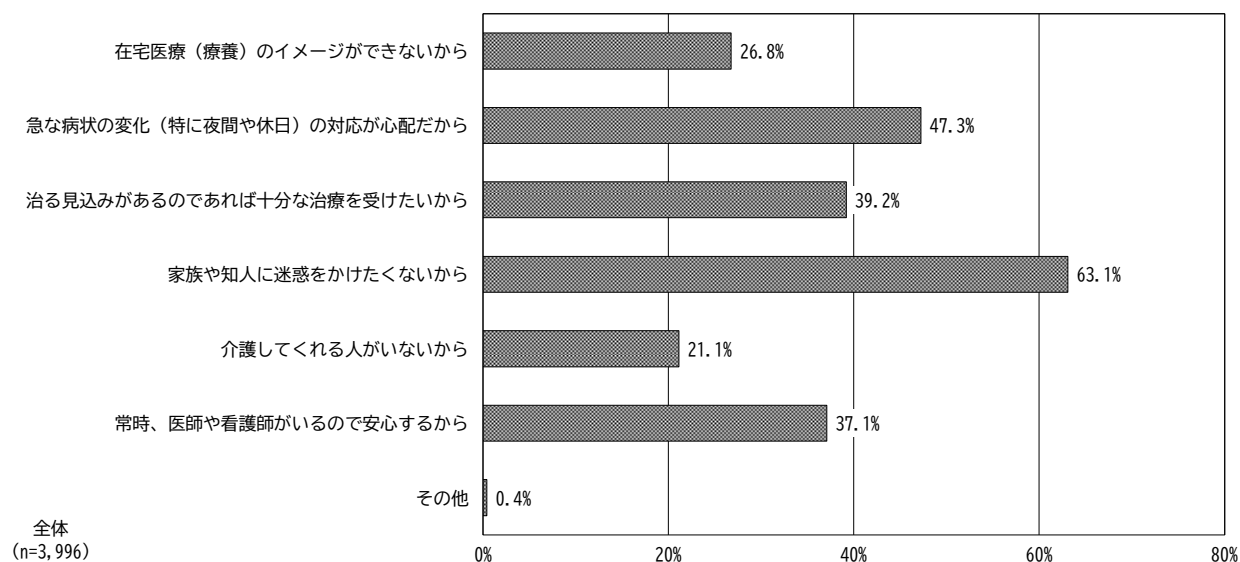


〔入院医療を希望する理由〕

○入院医療を希望する理由は、「家族や知人に迷惑をかけたくないから」（63.1%）、「急な病状の変化（特に夜間や休日）の対応が心配だから」（47.3%）の順が多かった。

○最も回答割合の高かった「家族や知人に迷惑をかけたくないから」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向（男性：4～7割台、女性：6～7割台）がみられた。

図表 10 入院医療を希望する理由



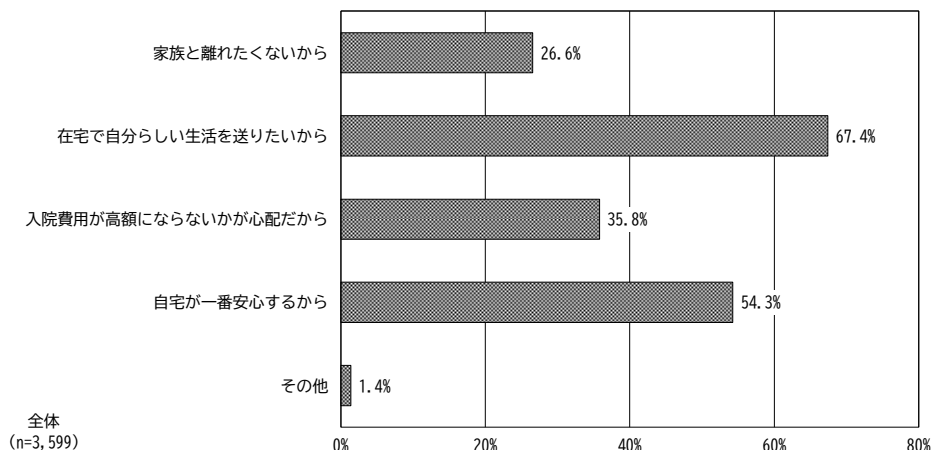
	全体 (n=3,996)	20歳代男性 (n=243)	30歳代男性 (n=255)	40歳代男性 (n=309)	50歳代男性 (n=358)	60歳代男性 (n=312)	70歳以上男性 (n=582)	20歳代女性 (n=218)	30歳代女性 (n=232)	40歳代女性 (n=263)	50歳代女性 (n=286)	60歳代女性 (n=277)	70歳以上女性 (n=661)
在宅医療（療養）のイメージができないから	26.8%	42.0%	44.5%	36.5%	33.0%	24.8%	22.0%	25.8%	29.0%	24.6%	21.3%	18.0%	17.9%
急な病状の変化（特に夜間や休日）の対応が心配だから	47.3%	38.9%	41.6%	42.6%	38.8%	51.3%	57.8%	45.0%	40.4%	42.9%	37.8%	48.9%	56.4%
治る見込みがあるのであれば十分な治療を受けたいから	39.2%	40.8%	41.6%	36.2%	38.6%	38.8%	53.8%	37.5%	30.6%	29.4%	27.0%	35.1%	41.4%
家族や知人に迷惑をかけたくないから	63.1%	40.1%	41.3%	49.7%	54.8%	62.7%	70.8%	60.0%	66.3%	70.2%	69.5%	72.8%	74.4%
介護してくれる人がいないから	21.1%	10.8%	17.1%	15.9%	21.6%	16.6%	15.0%	11.3%	17.6%	22.5%	26.7%	31.8%	33.3%
常時、医師や看護師がいるので安心するから	37.1%	21.7%	29.5%	25.9%	25.9%	33.2%	51.3%	30.0%	28.2%	30.1%	32.4%	41.0%	54.9%
その他	0.4%	0.0%	0.0%	0.6%	0.5%	0.9%	0.5%	1.3%	0.4%	0.0%	0.0%	0.7%	0.4%

〔在宅医療を希望する理由〕

○在宅医療を希望する理由は、「在宅で自分らしい生活を送りたいから」(67.4%)、「自宅が一番安心するから」(54.3%)の順で多かった。

○最も回答割合の高かった「在宅で自分らしい生活を送りたいから」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向(男性：5～7割台、女性：5～7割台)がみられた。

図表 11 在宅医療を希望する理由



	全体 (n=3,599)	20歳代男性 (n=209)	30歳代男性 (n=267)	40歳代男性 (n=330)	50歳代男性 (n=313)	60歳代男性 (n=236)	70歳以上男性 (n=415)	20歳代女性 (n=190)	30歳代女性 (n=229)	40歳代女性 (n=330)	50歳代女性 (n=313)	60歳代女性 (n=250)	70歳以上女性 (n=518)
家族と離れたくないから	26.6%	27.4%	27.9%	26.4%	24.1%	26.3%	23.2%	44.0%	51.6%	36.1%	20.3%	14.5%	15.9%
在宅で自分らしい生活を送りたいから	67.4%	58.5%	57.8%	58.1%	59.3%	73.7%	78.3%	51.7%	59.1%	68.9%	68.0%	77.8%	78.0%
入院費用が高額にならないかが心配だから	35.8%	30.4%	35.0%	38.0%	41.9%	33.2%	29.8%	39.2%	38.1%	44.9%	42.7%	32.0%	29.0%
自宅が一番安心するから	54.3%	51.9%	53.1%	55.6%	52.3%	49.4%	60.6%	53.6%	53.6%	54.0%	50.3%	49.1%	58.9%
その他	1.4%	0.7%	1.0%	1.7%	0.3%	0.4%	0.7%	1.4%	2.8%	1.4%	2.3%	1.1%	2.3%

(3) 夜間・休日の急変時対応について

〔自身又は家族が「往診」を依頼した経験の有無〕

○自身又は家族が夜間や休日に具合が悪くなった際に「何らか往診を依頼した」と回答した方の割合は、9.9%であった。その内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね減少傾向がみられた。小数点以下の表示によるズレです

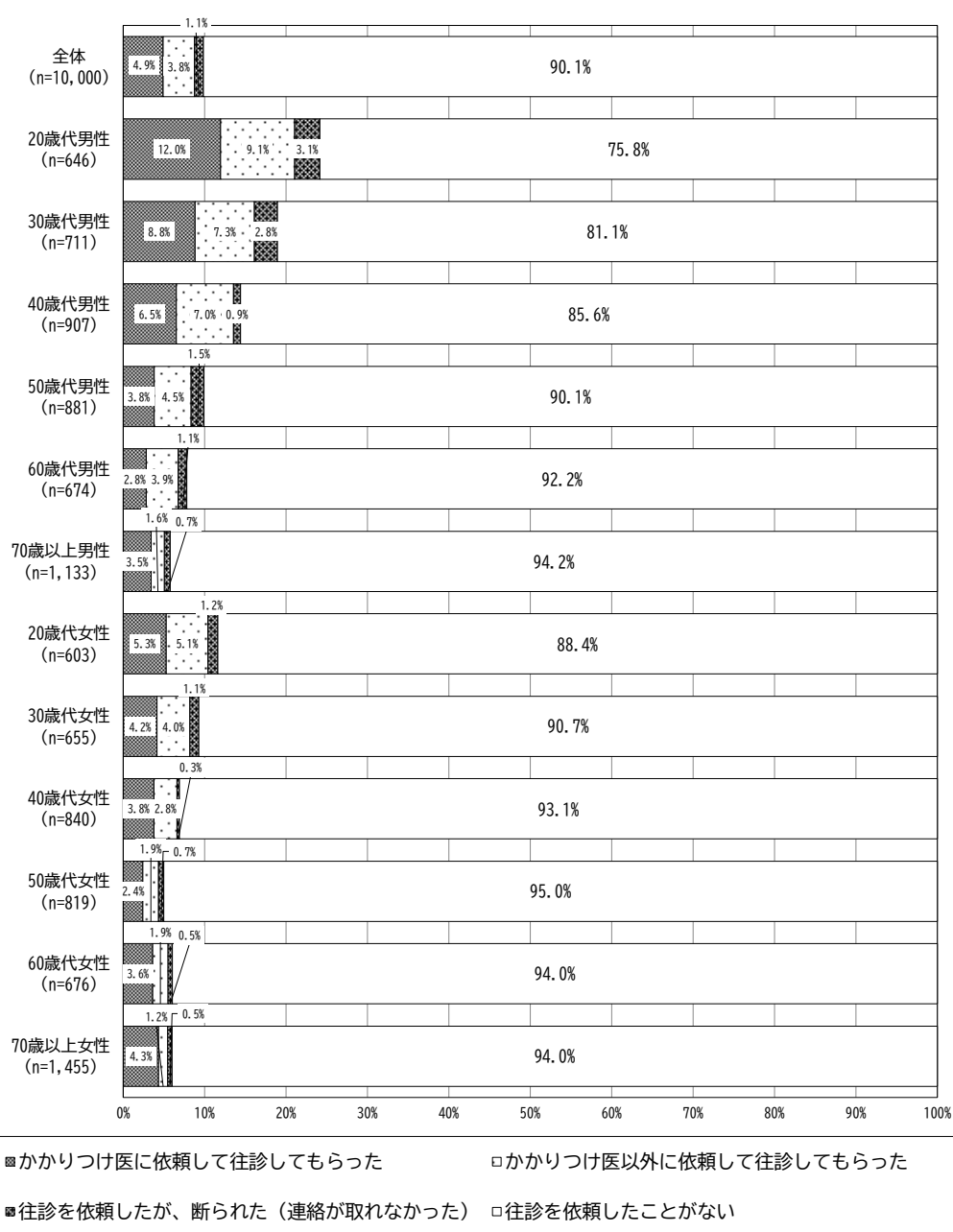
実数は以下のとおりです。

よく知っている<143人>

聞いたことはあるがよく知らない<1,102人>

計：1,245人（12.45%→小数点第2位を四捨五入）

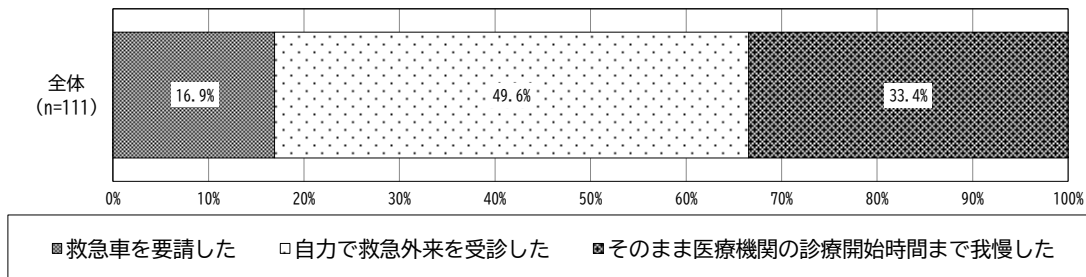
図表 12 自身又は家族が「往診」を依頼した経験の有無



〔自身又は家族が「往診」を断られた後の対応〕

○自身又は家族が「往診」を断られた後の対応は、「自力で救急外来を受診した」(49.6%)、「そのまま医療機関の診療開始時間まで我慢した」(33.4%)、「救急車を要請した」(16.9%)の順が多かった。

図表 13 自身又は家族が「往診」を断られた後の対応



	全体 (n=111)	20歳代男性 (n=20)	30歳代男性 (n=20)	40歳代男性 (n=8)	50歳代男性 (n=14)	60歳代男性 (n=7)	70歳以上男性 (n=8)	20歳代女性 (n=7)	30歳代女性 (n=7)	40歳代女性 (n=3)	50歳代女性 (n=5)	60歳代女性 (n=4)	70歳以上女性 (n=7)
救急車を要請した	16.9%	0.0%	9.1%	0.0%	33.3%	25.0%	44.4%	12.5%	12.5%	33.3%	16.7%	25.0%	33.3%
自力で救急外来を受診した	49.6%	61.5%	50.0%	55.6%	53.3%	62.5%	44.4%	25.0%	62.5%	66.7%	33.3%	75.0%	0.0%
そのまま医療機関の診療開始時間まで我慢した	33.4%	38.5%	40.9%	44.4%	13.3%	12.5%	11.1%	62.5%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	66.7%

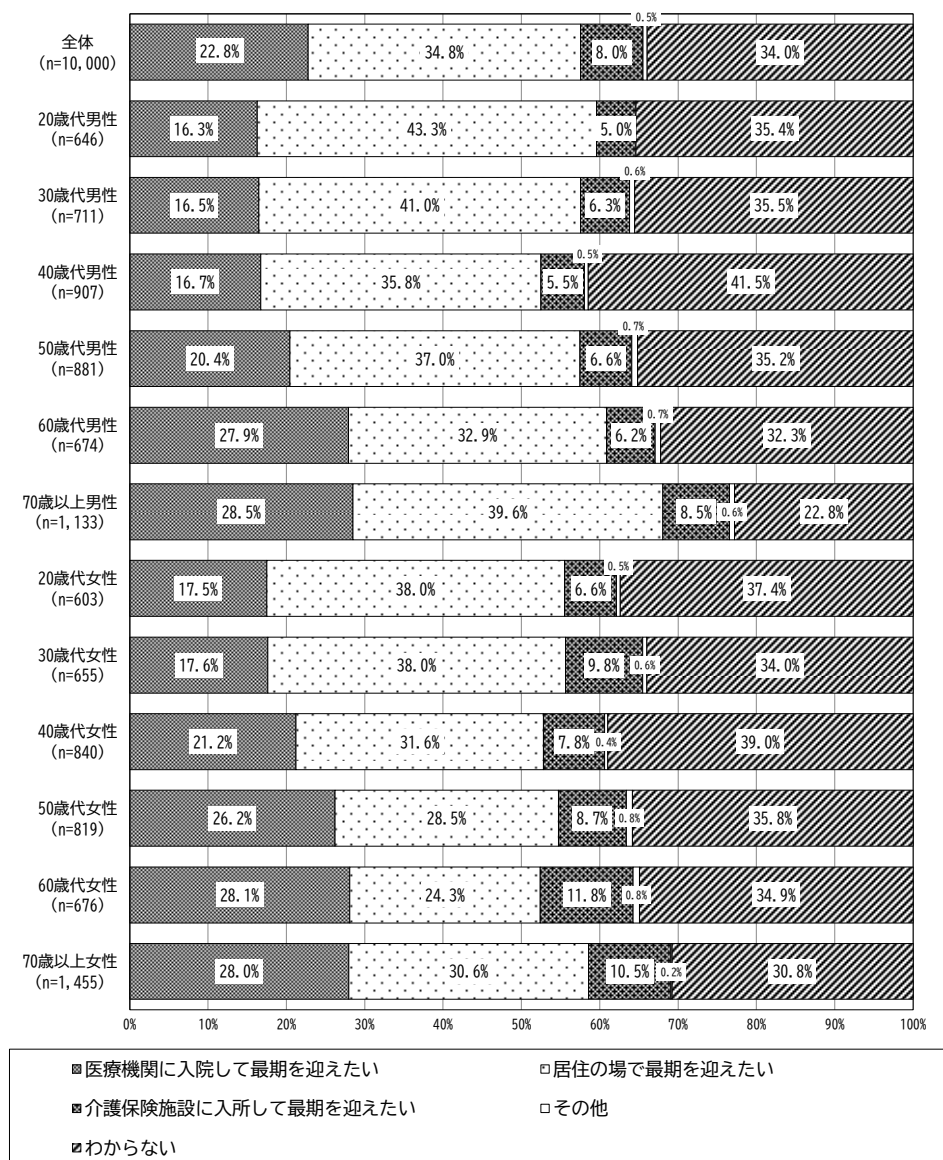
(4) 最期を迎える場所の希望や理由について

〔自身が最期を迎える場所の希望〕

○自身が最期を迎える場所の希望は、「居住の場で最期を迎えたい」(34.8%)、「わからない」(34.0%)の順で多かった。

○最も回答割合の高かった「居住の場で最期を迎えたい」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性は3～4割台、女性は2～3割台であった。

図表 14 自身が最期を迎える場所の希望

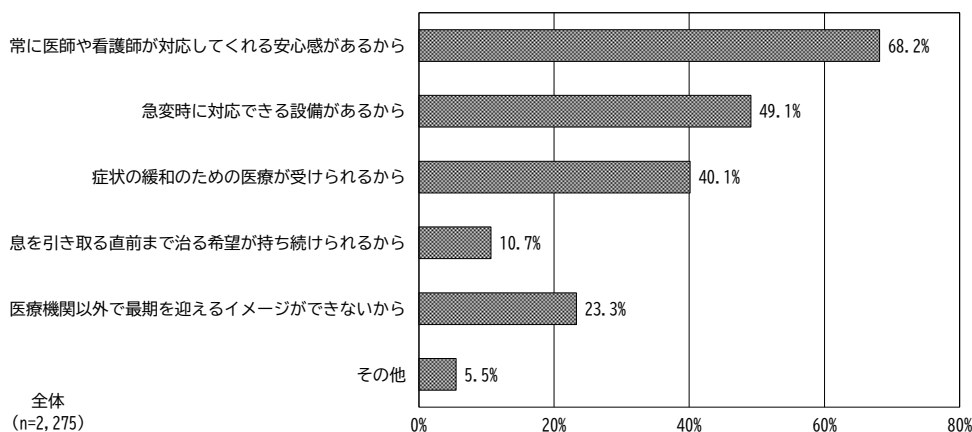


〔医療機関で最期を迎えたい理由〕

○医療機関で最期を迎えたい理由は、「常に医師や看護師が対応してくれる安心感があるから」（68.2%）、「急変時に対応できる設備があるから」（49.1%）」の順が多かった。

○最も回答割合の高かった「常に医師や看護師が対応してくれる安心感があるから」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向（男性：5～7割台、女性：5～7割台）がみられた。

図表 15 医療機関で最期を迎えたい理由



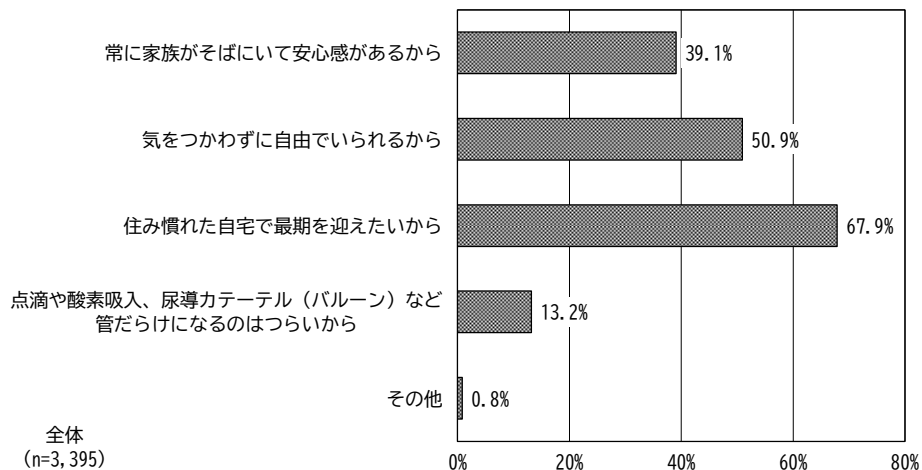
	全体 (n=2,275)	20歳代男性 (n=105)	30歳代男性 (n=117)	40歳代男性 (n=152)	50歳代男性 (n=180)	60歳代男性 (n=188)	70歳以上男性 (n=323)	20歳代女性 (n=106)	30歳代女性 (n=115)	40歳代女性 (n=178)	50歳代女性 (n=215)	60歳代女性 (n=190)	70歳以上女性 (n=407)
常に医師や看護師が対応してくれる安心感があるから	68.2%	58.8%	55.8%	62.9%	68.2%	70.5%	77.2%	58.6%	61.4%	61.7%	63.6%	76.1%	73.8%
急変時に対応できる設備があるから	49.1%	36.8%	41.1%	41.9%	53.5%	46.4%	50.4%	43.1%	47.2%	43.9%	46.6%	53.1%	59.5%
症状の緩和のための医療が受けられるから	40.1%	27.9%	29.5%	29.9%	30.8%	34.8%	45.9%	30.2%	33.1%	39.8%	41.5%	44.5%	54.2%
息を引き取る直前まで治る希望が持たせられるから	10.7%	19.1%	14.7%	16.8%	9.1%	11.6%	9.6%	6.9%	15.0%	9.2%	5.5%	6.7%	11.3%
医療機関以外で最期を迎えるイメージができないから	23.3%	29.4%	23.3%	21.6%	26.8%	16.9%	19.7%	28.4%	20.5%	22.4%	19.9%	18.7%	30.4%
その他	5.5%	2.9%	7.8%	6.0%	4.5%	5.3%	4.2%	6.0%	10.2%	8.7%	9.7%	4.3%	2.4%

〔居住の場で最期を迎えたい理由〕

○居住の場で最期を迎えたい理由は、「住み慣れた自宅で最期を迎えたいから」(67.9%)、「気をつかわずに自由でいられるから」(50.9%)の順が多かった。

○最も回答割合の高かった「住み慣れた自宅で最期を迎えたいから」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向(男性：5～7割台、女性：6～7割台)がみられた。

図表 16 居住の場で最期を迎えたい理由

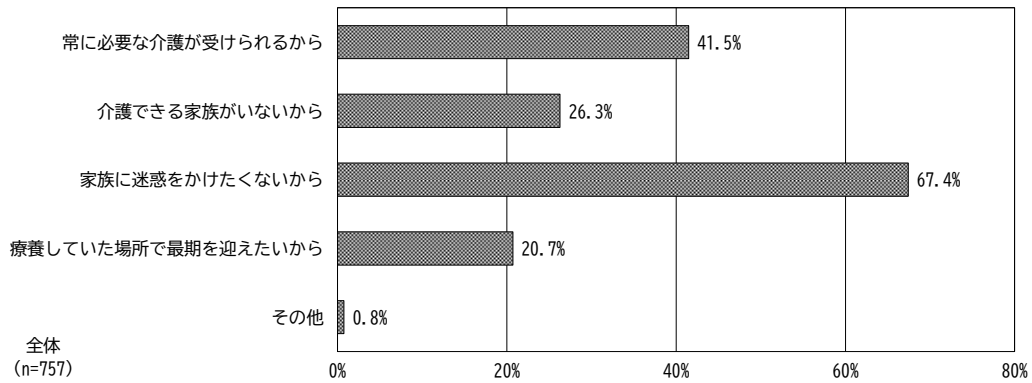


	全体 (n=3,480)	20歳代男性 (n=280)	30歳代男性 (n=292)	40歳代男性 (n=325)	50歳代男性 (n=326)	60歳代男性 (n=222)	70歳以上男性 (n=48)	20歳代女性 (n=229)	30歳代女性 (n=249)	40歳代女性 (n=265)	50歳代女性 (n=234)	60歳代女性 (n=165)	70歳以上女性 (n=445)
常に家族がそばにいて安心感があるから	39.1%	40.9%	40.5%	34.2%	36.2%	38.1%	43.8%	50.4%	56.9%	40.8%	33.1%	27.6%	28.8%
気をつかわずに自由でいられるから	50.9%	45.9%	55.5%	62.7%	49.3%	49.2%	45.2%	46.8%	51.5%	52.7%	49.4%	55.8%	50.0%
住み慣れた自宅で最期を迎えたいから	67.9%	55.2%	63.9%	66.4%	66.0%	67.2%	79.3%	65.9%	64.6%	64.4%	67.7%	71.3%	73.4%
点滴や酸素吸入、尿導カテーテル（バルーン）など管だらけになるのはつらいから	13.2%	11.0%	7.8%	8.4%	7.2%	9.8%	11.6%	13.9%	15.0%	16.1%	19.5%	22.1%	19.6%
その他	0.8%	0.6%	0.6%	0.3%	0.3%	0.8%	0.4%	0.4%	1.5%	1.7%	1.9%	1.7%	0.5%

〔介護保険施設で最期を迎えたい理由〕

- 介護保険施設で最期を迎えたい理由は、「家族に迷惑をかけたくないから」(67.4%)、「常に必要な介護が受けられるから」(41.5%)の順が多かった。
- 最も回答割合の高かった「家族に迷惑をかけたくないから」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性は概ね増加傾向(3～7割台)、女性は6～8割台であり30歳代が8割台で最も多かった。

図表 17 介護保険施設で最期を迎えたい理由



	全体 (n=797)	20歳代男性 (n=32)	30歳代男性 (n=45)	40歳代男性 (n=50)	50歳代男性 (n=58)	60歳代男性 (n=42)	70歳以上男性 (n=96)	20歳代女性 (n=40)	30歳代女性 (n=64)	40歳代女性 (n=65)	50歳代女性 (n=71)	60歳代女性 (n=80)	70歳以上女性 (n=153)
常に必要な介護が受けられるから	41.5%	19.0%	20.4%	29.1%	35.9%	47.8%	51.9%	36.4%	45.1%	40.3%	50.0%	39.8%	47.6%
介護できる家族がないから	26.3%	19.0%	18.4%	40.0%	34.4%	26.1%	18.9%	11.4%	14.1%	29.2%	30.8%	31.8%	30.2%
家族に迷惑をかけたくないから	67.4%	38.1%	55.1%	45.5%	65.6%	63.0%	76.4%	68.2%	80.3%	73.6%	61.5%	68.2%	74.6%
療養していた場所で最期を迎えたいから	20.7%	38.1%	30.6%	23.6%	21.9%	10.9%	17.9%	15.9%	23.9%	6.9%	16.7%	22.7%	23.8%
その他	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	1.4%	2.8%	0.0%	0.0%	1.6%

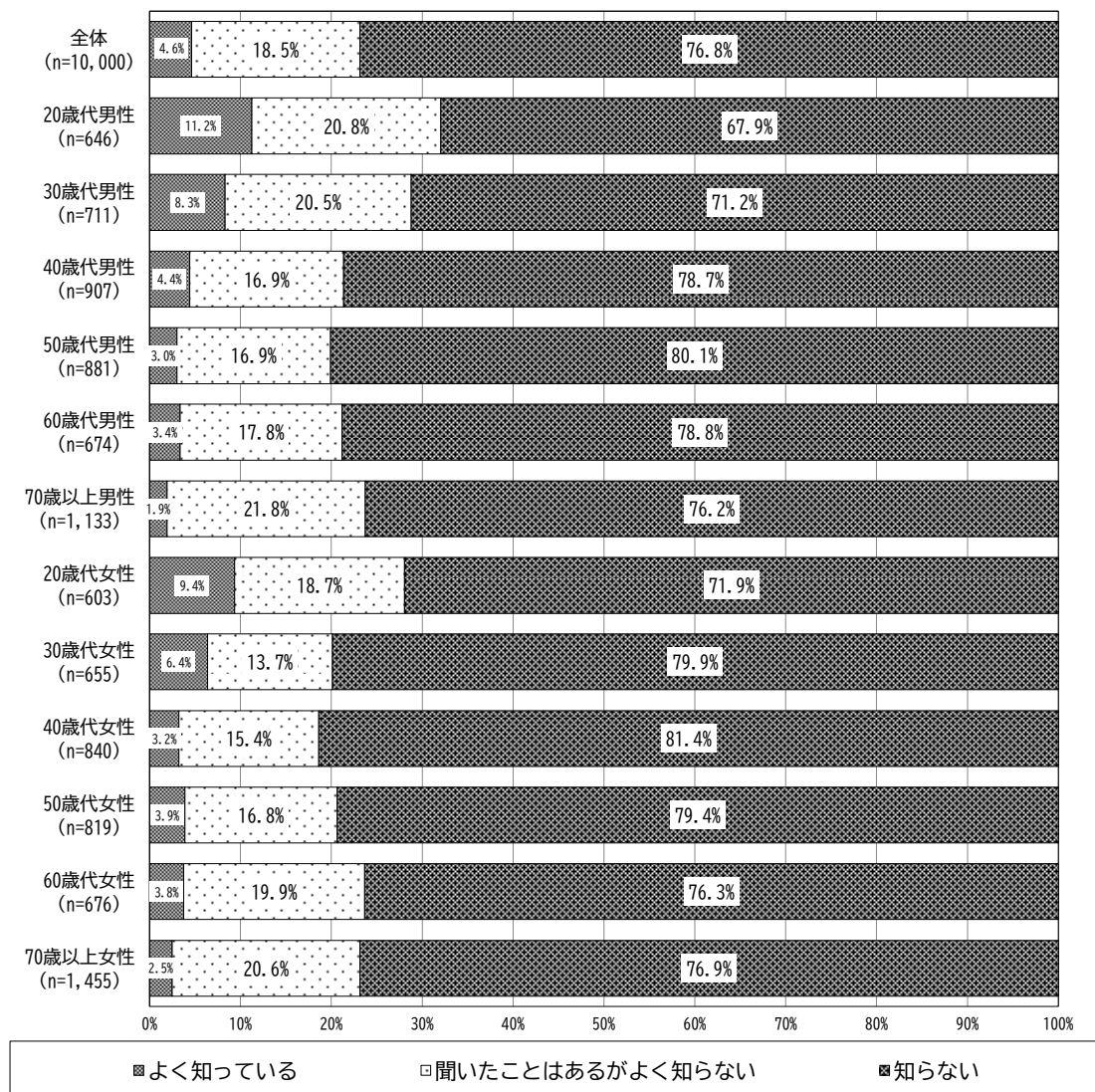
(5) 人生の最終段階における医療・療養に関する状況や考え

〔アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の認知状況〕

○アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の認知状況は、「知らない」（76.8%）、「聞いたことはあるがよく知らない」（18.5%）、「よく知っている」（4.6%）」の順が多かった。

○「よく知っている」と回答した方の割合は、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね減少傾向がみられた。

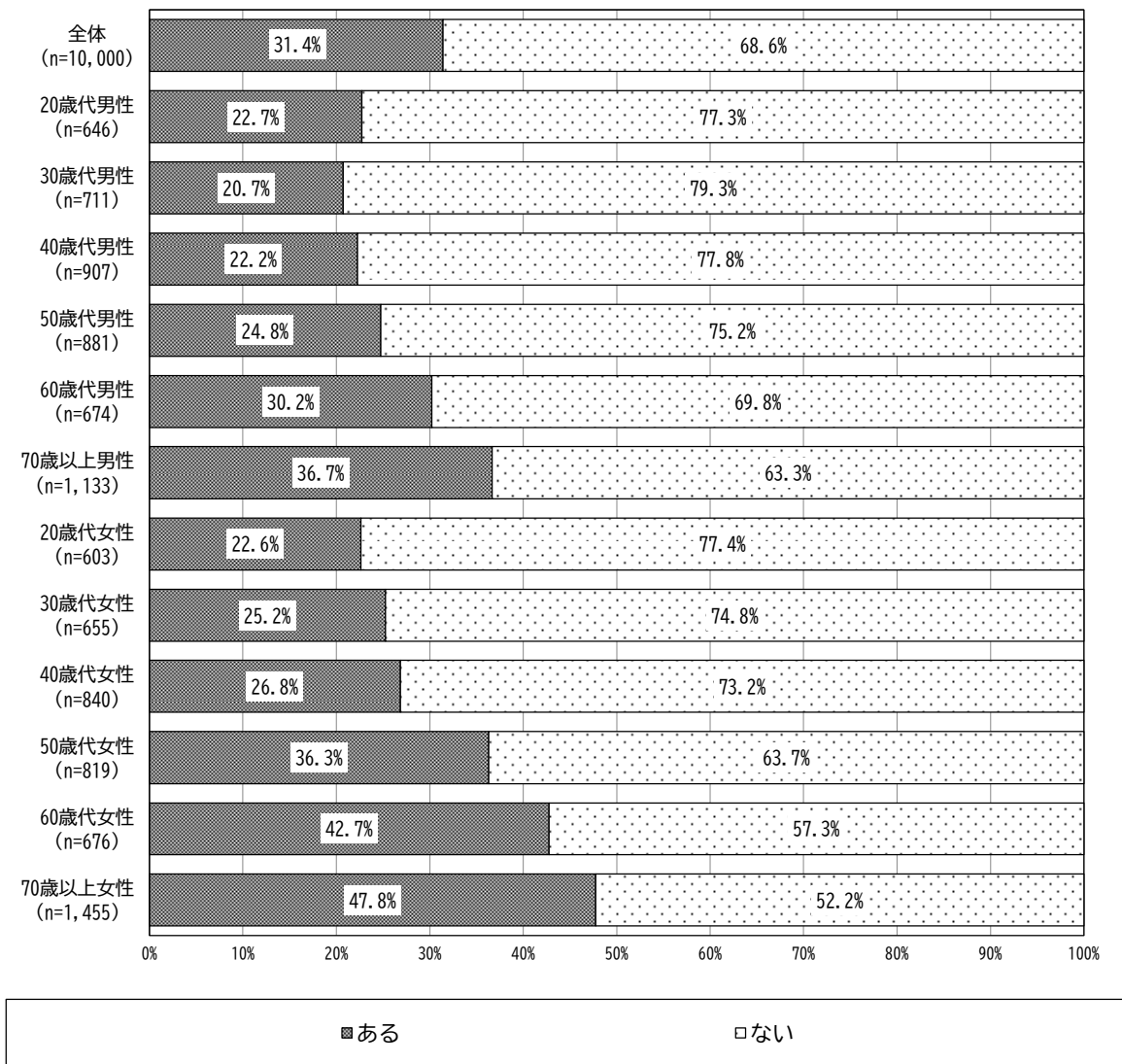
図表 18 アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の認知状況



〔自身が人生の最終段階における医療・療養について考えた経験の有無〕

○自身が人生の最終段階における医療・療養について考えた経験の有無について、「ある」と回答した方の割合は、31.4%であった。その内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向（男性：2～3割台、女性：2～4割台）がみられた。

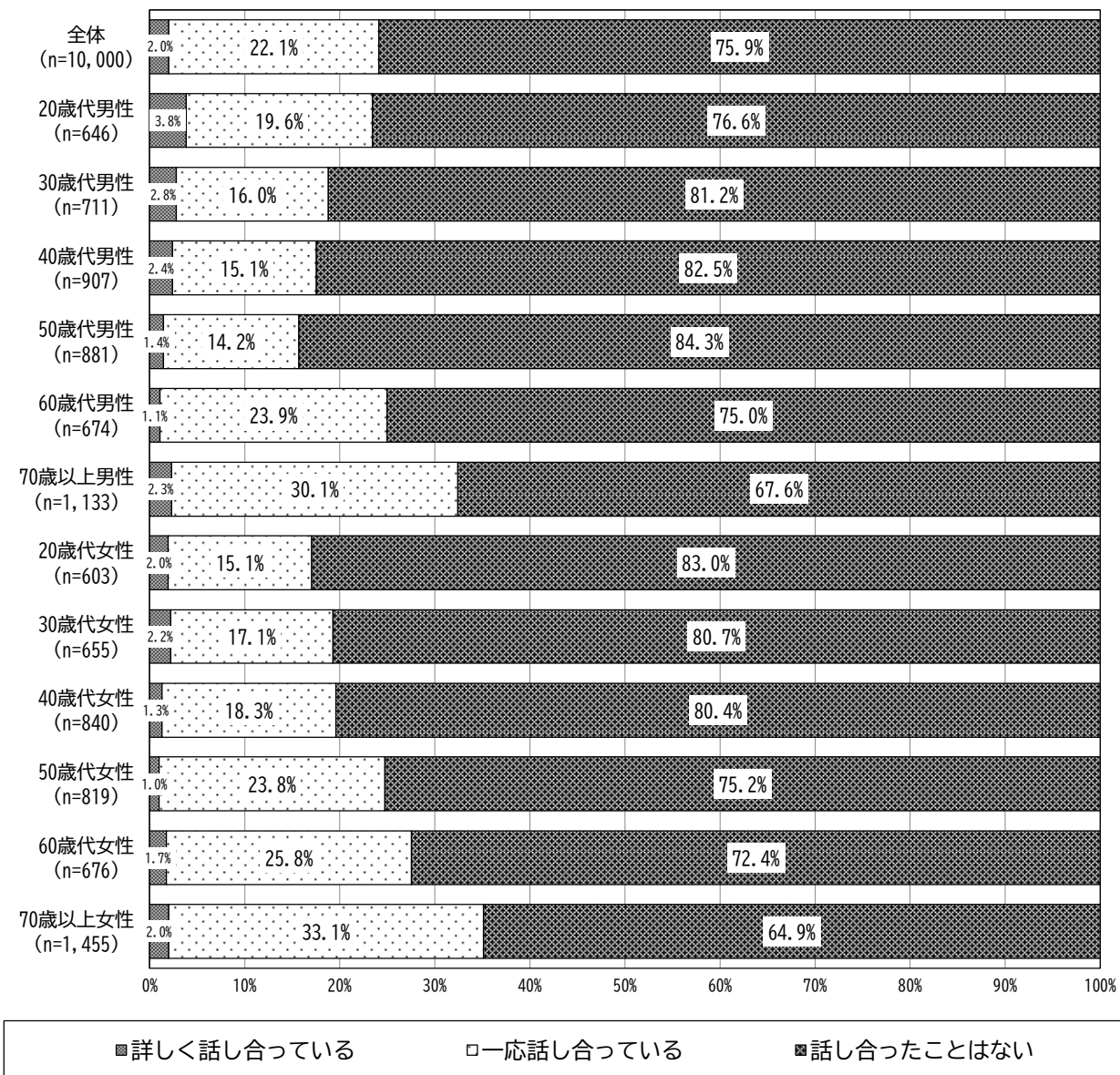
図表 19 自身が人生の最終段階における医療・療養について考えた経験の有無



〔家族等とACPについて話し合った経験の有無〕

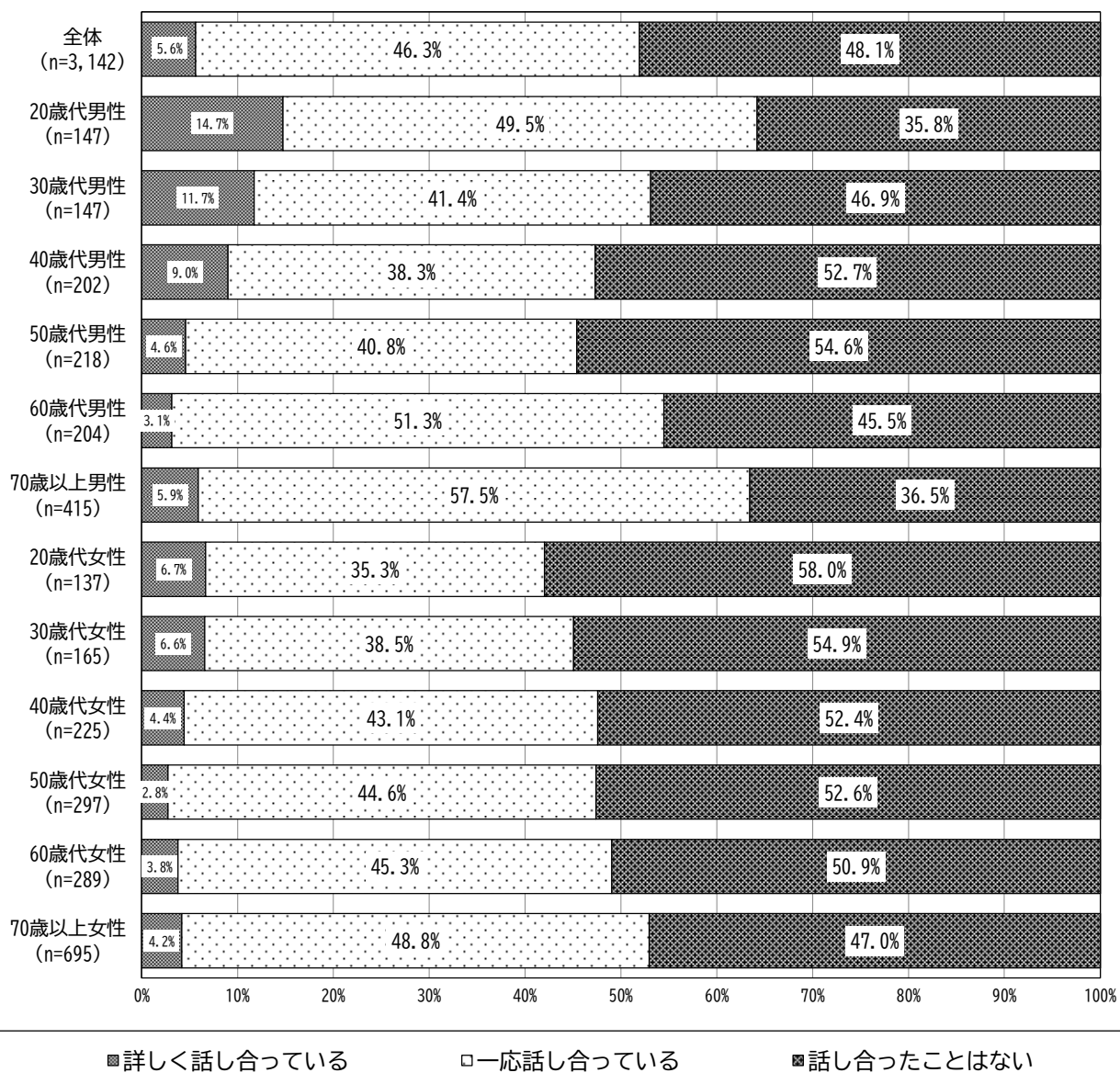
○家族等とACPについて「何らか話し合ったことがある」と回答した方の割合は、24.1%であった。
 その内訳を性別・年齢区分別にみると、年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向（男性（50歳以上）：1～3割台、女性：1～3割台）がみられた。

図表 20 家族等とACPについて話し合った経験の有無



○自身が人生の最終段階における医療・療養について考えた経験のある方（3,132/10,000人）のうち、本設問で「何らか話し合ったことがある」と回答した方の割合は、51.9%であった。その内訳を性別・年齢区分別にみると、年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向（男性（50歳以上）：4～6割台、女性：4～5割台）がみられた。

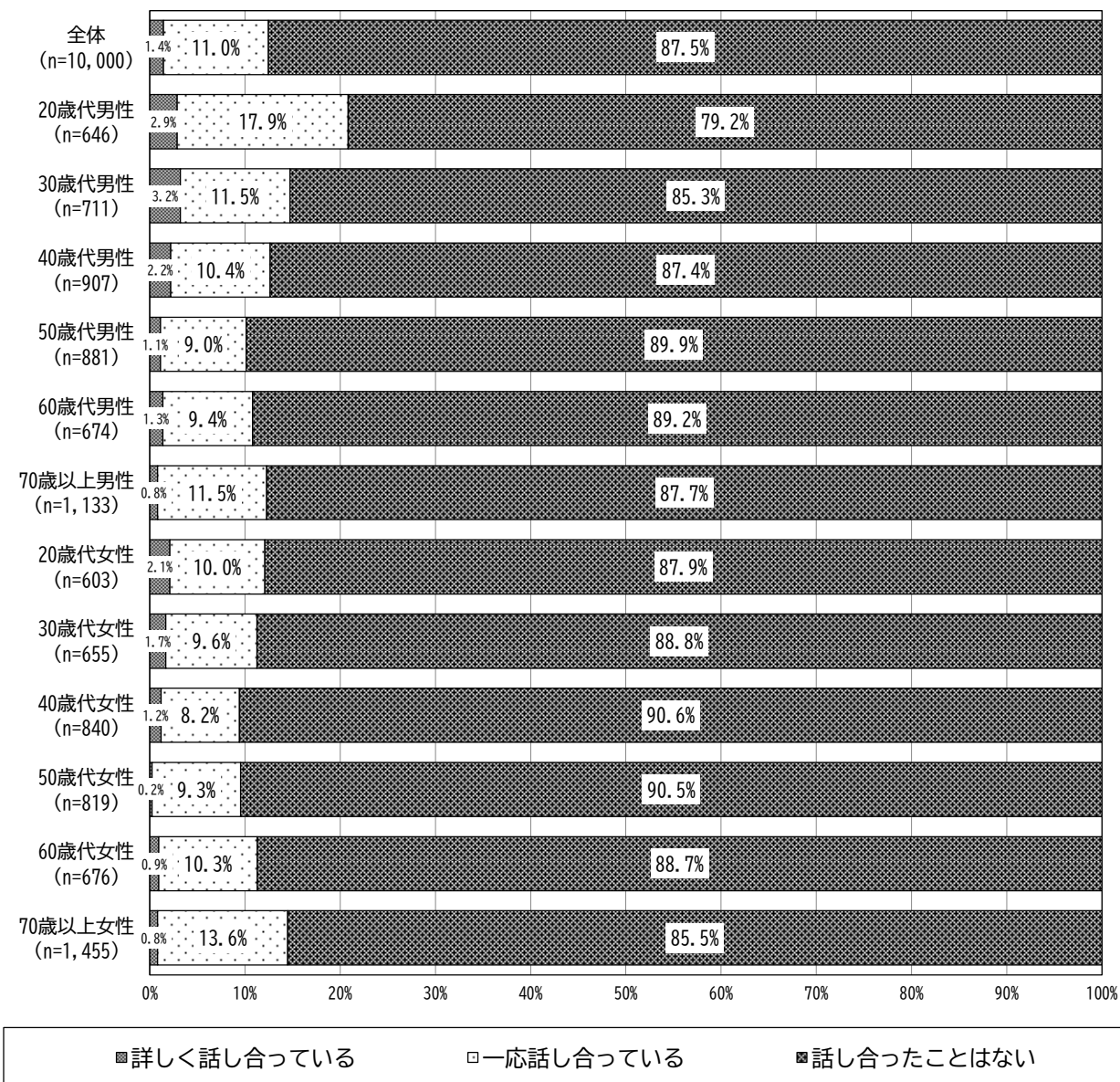
図表 21 家族等とACPについて話し合った経験の有無
（自身が人生の最終段階における医療・療養について考えた経験のある方）



〔医療・介護関係者等とACPについて話し合った経験の有無〕

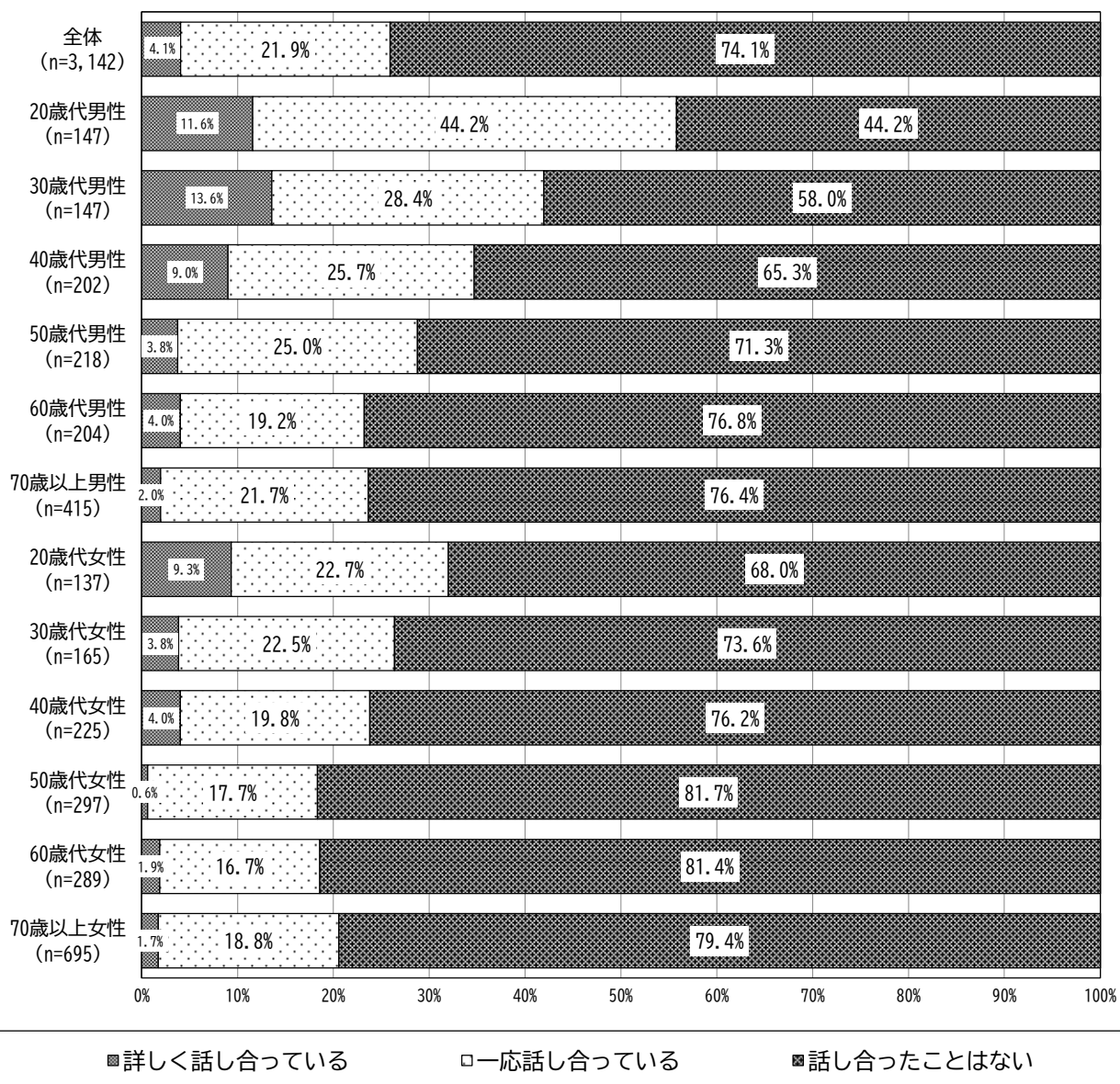
○医療・介護関係者等とACPについて「何らか話し合ったことがある」と回答した方の割合は、12.5%であった。その内訳を性別・年齢区別にみると、「20歳代男性」(20.8%)、「30歳代男性」(14.7%)の順で多く、他の区分は1割前後であった。

図表 22 医療・介護関係者等とACPについて話し合った経験の有無



○自身が人生の最終段階における医療・療養について考えた経験のある方（3,132/10,000人）のうち、本設問で「何らか話し合ったことがある」と回答した方の割合は、26.0%であった。その内訳を性別・年齢区分別にみると、年齢区分が上がるにつれて減少傾向（男性：2～5割台、女性：1～3割台）がみられた。

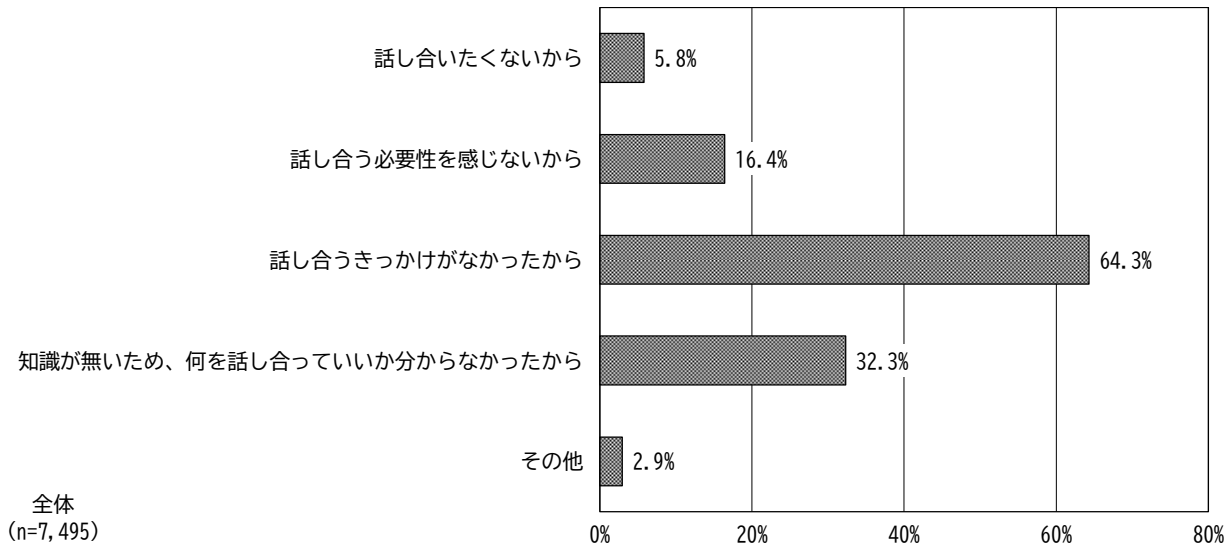
図表 23 医療・介護関係者等とACPについて話し合った経験の有無
 (自身が人生の最終段階における医療・療養について考えた経験のある方)



〔ACPについて話し合ったことがない理由〕

- ACPについて話し合ったことがない理由は、「話し合うきっかけがなかったから」(64.3%)、「知識が無いため、何を話し合っていないか分からなかったから」(32.3%)の順で多かった。
- 最も回答割合の高かった「話し合うきっかけがなかったから」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性は5～6割台、女性は6～7割台であった。

図表 24 ACPについて話し合ったことがない理由



	全体 (n=7,495)	20歳代男性 (n=482)	30歳代男性 (n=569)	40歳代男性 (n=740)	50歳代男性 (n=734)	60歳代男性 (n=501)	70歳以上男性 (n=761)	20歳代女性 (n=494)	30歳代女性 (n=522)	40歳代女性 (n=666)	50歳代女性 (n=608)	60歳代女性 (n=489)	70歳以上女性 (n=930)
話し合いたくないから	5.8%	5.4%	8.6%	7.1%	7.6%	8.4%	6.5%	2.8%	4.3%	5.2%	4.6%	3.5%	4.9%
話し合う必要性を感じないから	16.4%	23.7%	21.9%	16.1%	17.7%	22.9%	24.5%	14.9%	9.6%	9.7%	10.5%	15.6%	12.2%
話し合うきっかけがなかったから	64.3%	56.4%	60.7%	60.9%	60.0%	58.9%	66.7%	65.2%	67.7%	63.6%	69.7%	67.3%	70.8%
知識が無いため、何を話し合っていないか分からなかったから	32.3%	32.1%	34.3%	35.0%	32.8%	27.8%	27.1%	36.6%	37.0%	41.5%	30.0%	28.1%	27.6%
その他	2.9%	1.6%	1.4%	2.2%	3.7%	3.6%	2.0%	2.2%	2.4%	2.2%	3.3%	5.2%	4.7%